

No.	地区	項目	意見要約	市長回答	所管課	所管課補足
1	金久地区	先進地視察について	全国市長会、市議会、市職員など、先進地視察は定期的を実施しているのか。	市議会については、3つの委員会ごとに適宜、先進地視察を行っており、その結果を市にご提言いただいております。 市長、副市長については、出張に併せて先進地視察を行うなどし、新しい優れた取組みについて見分を広める努力をしているところであり、市職員はインターネットを通じた情報収集、関係機関への電話での聞き取り、場合によっては視察などを積極的に行い、市の施策に反映しております。	議会事務局 総務課	【議会事務局】 【総務課】 補足なし
2	金久地区	大学の誘致について	奄美市も人口減少、特に島を出た後、そのまま本土で就職して帰ってこない状況が多いと感じているが、大学の誘致などを考えることが可能なのか、将来展望も含めて教えていただきたい。	10年ほど前に、奄美大島 5 市町村で大学の誘致も含めた共同キャンパス構想を打ち立て、調査・研究を行ったところですが、その後については、目立った進捗はない状況です。一方で、現在も民間の方々を中心に、大学の設立を考えてほしいとの声が届いているところです。 現在、鹿児島大学が島しょ研究センターをリニューアルして、紬会館にセンターを設置しておりますが、現在では大学のあり方についても、オンラインで授業を受けたり、多様な選択肢があると思いますので、島の若者がもっと学べる環境づくり、大人のリスキリング（学び直し）も含めて、枠を設けずに柔軟に検討していくことができないかと考えております。	企画調整課	平成28年度に奄美大島5市町村（奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町）で構成する奄美大島総合戦略推進本部は、奄美大島に大学を設立又は誘致することの可能性について、様々な角度から検討を行うための基礎資料を整理すること及び設立等に当たっての課題等を提示するための調査を実施いたしました。 ●奄美大島大学設立等可能性調査報告書 https://www.city.amami.lg.jp/kikaku/shise/shisaku/daigakusetsuritsuchosa.html
3	金久地区	海産物の減少 名瀬漁協の移転について	海産物の減少を危惧している。以前、名瀬漁協の移転についての話しがあったと思うが、現状どのようになっているか聞きたい。	（市長）海産物の減少については、本当に深刻な課題と受け止めております。主に地球温暖化に伴う海水温の上昇が原因ではないかと考えておりますが、現状、市としては、漁業者の燃料高騰への応援などをさせていただいているところです。名瀬漁協の移転については、私は伺っておりませんが、移転するには自己資金が必要なことから、経営改善も併せて行う必要があるかと考えます。 （総務部長）名瀬港の港湾計画の中で、第1次マリンタウン計画の整備が終わり、分譲などを実施しております。名瀬漁協の移転につきましては、構想としては、第2次マリンタウン計画の中に位置づけられると考えておますので、現状としては、第1次マリンタウン計画の進捗状況を見守っているところです。なお、国の方が定期船の岸壁など、名瀬新港の改修を予定しております。	農林水産課 土木課	【農林水産課】 【土木課】 補足なし
4	金久地区	グラウンドゴルフ場の整備について	健康づくりを目的にグラウンドゴルフに励んでいる。名瀬ではうどん浜公園と福祉会館横のグラウンドでできるが、ビックマリン横の緑地公園をグラウンドゴルフができるように整備することはできないか。	（市長）緑地公園については、県の管轄となりますので、相談していかないといけないところですが、下水道の処理場横に広い空き地がありますので、利用に関して検討いただければと思います。また、今年度から市の持っている土地や建物などを積極的に民間にお貸しする取組みを始めて参ります。グラウンドゴルフ場として長浜町内会、老人クラブ等で管理を行うことも検討いただければと思います。 （総務部長）奄美市の事業として「紡ぐきよらの郷づくり」事業というものがあります。町内会・自治会などの課題解決や活性化に向けた事業に補助するものですので、芝の植え込みなどについて活用をご検討ください。	学び・スポーツ推進課 企画調整課	【学び・スポーツ推進課】 下水道の処理場横空き地につきましては、現在有志の方で伐採等を行いながら、それぞれの目的で使用しているところです。グラウンドゴルフ等につきましても、道具持参のうえ、ご利用いただけるものと考えております。 【企画調整課】 補足なし

No.	地区	項目	意見要約	市長回答	所管課	所管課補足
5	金久地区	長浜中央公園について	長浜中央公園の周りにフェンスが張りめぐらされているが、錆びついてあちこち破損している。行政の方で管理するものでしょうか、それとも長浜中央自治会の方で管理するものでしょうか。	（総務部長）長浜中央の土地については、都市整備公園ではなく、市の普通財産を長浜中央自治会に無償でお貸しして、建物も自治会の皆さんで建て利用いただいております。お貸しする条件として、メンテナンスは自治会の方でお願いしますという形になっております。また、奄美市の事業として「紡ぐきよらの郷づくり」事業というものがあります。町内会・自治会などの課題解決や活性化に向けた事業に補助するものですので、活用をご検討ください。	財政課 企画調整課	【財政課】 総務部長回答のとおりです。 一時使用契約においても、借受側は「善良な管理者の注意をもって、一時使用物件の維持管理に努めなければならない。」また「修繕に要する費用は、借受側の負担とする。」となっております。 【企画調整課】 補足なし
6	金久地区	マリンタウンについて	マリンタウンについて、土地を借地することは考えられているか。	（副市長）マリンタウンについては、分譲するために造成を行っていたもので、借地については考えておりません。	財政課	副市長回答のとおりです。
7	金久地区	民泊について	名瀬地区において、民泊ができる地域が限られている。用途地域の変更などが可能か。	（総務部長）用途地域は都市計画法により定められており、100年計画と呼ばれるものであり、各々の用途地域については根拠があって定められているものですので、変更は難しいと考えます。	都市整備課	補足なし
8	金久地区	小浜保育所について	小浜保育所の老朽化が著しいが、建て替えや認定こども園化など、今後の予定について教えてほしい。	小浜保育所は50年近くになる建物ですので、市議会でも議論になっているところ です。認定こども園整備については、住用・笠利を先行して行うものですが、小浜 保育所については、重点政策推進監を配置して、保育士不足や建て替えなど様々な 検討も含めて、なるべく早く結論を出していけるように取り組んで参ります。笠 利・住用を今年度と来年度2年かけて実施して参りますので、その後、小浜保育所 について目指していく考えで取り組んでおります。	重点政策推 進監	補足なし
9	金久地区	津波避難場所について	ハザードマップでは長浜については老人福祉会館が避難場所になっていると思う が、2022年の津波避難の際には、自治会の方とマップにも掲載されているにつ しょう団地に避難したところ。なるべく市民の住まいのそばに、小さなところ でも良いので、細かく避難場所の整備をお願いできないか。	津波発生による高台への避難や一次避難場所については、柔軟に見直しや設定を 行いたいので、各町内会・自治会の皆さんと連携させていただきたいと思いま す。併せて、現在、奄美市で想定している津波について、明治44年の喜界島沖地震を参 考にさせていただいておりますが、まずは10メートル以上、ビルで言いますと3階 か4階以上となります。近所に高いビルがあれば、そちらに避難いただくことも一 つの手段だと思いますので、普及・啓発も含めて、今後とも進めていきたいと思 います。	総務課	各自治会の中であっても周辺環境はそれぞれ違うことから、細かく避 難場所を設定することは難しいところ。す。 まずはご自宅の海拔高を把握された上で、津波の規模によってどのよ うな行動をとればよいのか、また、各世帯ごとにどこに避難することが 好ましいのかを、ハザードマップや出前講座、鹿児島大学の防災アドバ イザーによる講話等を活用してご確認頂けたらと思います。
10	金久地区	博物館のネットワーク化について 博物館の資器材貸し出しについて	大島本島内の博物館のネットワーク化によって、奄美博物館で他の博物館の情報 が確認できるようにならないか。また、恵原義盛さんの資料整理をされたそうだ が、その資器材の貸し出しができないか。	文化財課に確認をして、ご連絡させていただければと思います。	文化財課	大島内の博物館等のネットワーク化については、他4町村と協力して 進めていく必要がありますので、今後、どのような構築の必要性、費用 負担等を検討課題とさせていただきます。 奄美博物館の資器材の貸し出しについては、奄美市HPに掲載されて おります「博物館資料等貸出許可申請書」を記載の上、提出していただ きましたら、借用理由等を踏まえて文化財課内で判断させていただきます。